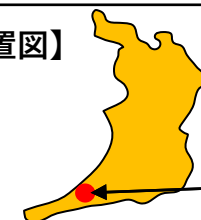


農地の基盤強化施策等と連動した新規就農者の育成・確保のための体制づくり

- 田尻町は大阪府南部に位置し、大阪市中心部からは車や鉄道で約40分ほどと交通利便性が高く、また町内の沖合5kmには関西国際空港が立地した、市街地近接の平坦な地形が特徴である。
- 町内の農地では農業用ため池等を水源として、古くから都市近郊立地の優位性を活かした農業を展開しており、水稻のほか、玉ねぎ、キャベツ、なす等の指定産地となっている。
- 担い手不足により農地のスプロール化が生じ、農地を維持し、農業を持続させるため、農業振興策の検討に取り組む中、基盤整備や新たな担い手確保に加え観光連携を模索している。

【位置図】



大阪府
泉南郡田尻町

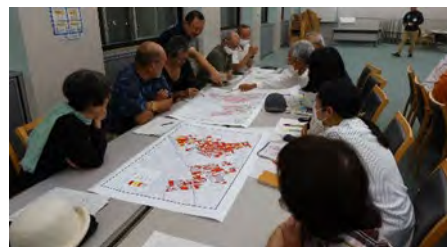
取組前

- 新規就農希望者の誘致・支援や農地貸借支援が関係機関と連携して取り組めておらず町・土地改良区・農業委員会の範囲での連携にとどまっている状況
- 町等の人材では、営農計画や農地貸借制度等への知識が不足している現状
- 基盤強化や農地の集約化に関しても技術面含め、推進体制は脆弱



取組内容

- 町、土地改良区、農業委員会が構成員となる協議会を中心とした新規就農希望者の誘致・支援体制構築
- 新規参入フェア、地域イベント等での誘致活動・相談ブース開設・相談対応
- 誘致等のアプローチ方法の工夫（地域の課題解決や活性化に興味を持たれた企業等に町農業振興策の説明）



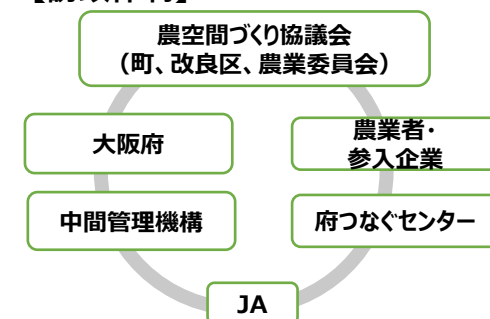
取組後(成果)

- 新規就農希望者の誘致支援体制構築
- 既存農家への農地利用意向・基盤整備協力意向聞き取りによる事業導入機運醸成
- 集落単位での事業実施の候補地（区域）の絞り込み
- 機構通じた農地貸借の促進

新規参入者数
1者/年 ※過去3年平均(R4～R6)
→ R7: 4者, R9: 2者（予定）



【誘致体制】



- ・田尻町農空間づくり協議会（全体調整、支援員配置ほか）
- ・大阪府泉州農と緑の総合事務所（農業経営、技術指導ほか）
- ・大阪農業つなぐセンター（農業経営、農業施設・機械確保ほか）
- ※上記機関のほか、農地中間管理機構（農地確保等）JA大阪泉州（販路確保等）等がともに支援

新規就農者や研修生の声

- 誘致体制の構築により、改良区理事や農業委員の新規参入等への理解度が高まり、参入企業や新規就農者と良好な関係が築けている。
- 参入企業は、地域との良好な関係に加え、参入の際に町独自の別の企業誘致制度も活用でき安定した経営につながったため規模拡大検討中。

新規就農者誘致環境整備事業 活用年度：令和7年度

【問合せ先】 田尻町農空間づくり協議会(田尻町産業振興課)
TEL：072-466-5008
E-mail：sanshin@town.tajiri.osaka.jp
HP:https://www.town.tajiri.osaka.jp